	無線航法装置	無線航法装置、衛星無線航法装置及び無線測位装置	地上設備（ＮＤＢ、ＶＯＲ、ＩＬＳ、ＶＯＲＴＡＣ及びＤＭＥ）及び機上設備（電波高度計、ＡＴＣトランスポンダ、ＤＭＥ、ＡＣＡＳ、ＧＰＳ及びＥＬＴ）	概要	Ａ	Ｃ
				取扱方法	Ａ	Ｂ
	空中線系	ＭＦ帯からＳＨＦ帯までの各周波数帯で使用される空中線の型式及び指向性	航空機用各種空中線、航空援助施設用空中線、レーダー用空中線及び地上局用各種空中線（スリーブアンテナ、ディスコーンアンテナ、ブラウンアンテナ及びパラボラアンテナ）	概要	Ｂ	Ｂ
				取扱方法	Ｂ	Ｃ
	レーダー	航空用各種レーダー	航空機用気象レーダー及び航空管制用レーダー	概要	Ｂ	Ｃ
				取扱方法	Ｂ	Ｃ
		外部の転換装置	ＳＴＣ、ＦＴＣ、ＧＡＩＮ（利得）及びＲＡＮＧＥ（距離レンジ）	取扱方法	Ｂ	Ｃ

※　航空特殊無線技士にあっては、「ＨＦ無線通信装置」を除く。

４　陸上資格（第一級陸上特殊無線技士、第二級陸上特殊無線技士及び第三級陸上特殊無線技士）（注４）

授業科目及び内容の分類（資格別専門科目）					養成課程別の授業の要否及び程度（注３）		
授業科目	授業内容	授業内容の要旨	授業内容の詳細	授業内容の区分（注２）	第一級陸上特殊無線技士	第二級陸上特殊無線技士	第三級陸上特殊無線技士
無線工学の基礎	高周波回路	集中定数回路、分布定数回路及び立体回路	共振回路、導波管を含む伝送線路、空洞共振器、分岐回路、減衰器、リアクタンス素子及び非可逆回路	概要	Ｃ		
無線工学	通信方式	単信方式及び複信方式		概要	Ｃ	Ｃ	Ｃ
	無線通信装置（多重化装置を含む。）	デジタル方式無線通信装置	移動体無線通信装置及び固定無線通信装置（マイクロ波多重無線通信装置を含む。）	概要	Ａ	Ｂ	Ｂ
		衛星通信のための無線通信装置（ＶＳＡＴを含む。）		取扱方法	Ａ	Ａ	
		アナログ方式無線通信装置	多重化方式（ＳＳ方式）	概要	Ｃ		
			非多重化方式（ＦＭ方式）	概要		Ｃ	Ａ
	多元接続方式	ＦＤＭＡ、ＣＤＭＡ、ＴＤＭＡ及びＯＦＤＭＡ		概要	Ａ	Ｃ	Ｃ
	電波伝搬	ＶＨＦ帯以上の周波数帯における伝搬特性	直接波、反射波、回折波、遅延波及びフレネルゾーン、大気中の電波の屈折率及び地球の等価半径並びにダクト、フェージング、見通し外伝搬、伝搬損失及びマイクロ波帯の吸収（※）	概要	Ｂ	Ｃ	Ｃ
	空中線系	ＭＦ帯からＳＨＦ帯までの各周波数帯の違いによる空中線の型式及び指向性	コーナーレフレクタ、八木アンテナ、パラボラアンテナ、電磁ホーン、ホーンレフレクタ、スロットアンテナ、アダプティブアレイアンテナ及びフェーズドアレイアンテナ	概要	Ｂ		
			固定及び移動用空中線	取扱方法		Ｃ	Ｃ
	レーダー	陸上用各種レーダー	気象用レーダー、速度測定用レーダー及び侵入検知用レーダー	概要	Ｃ	Ｃ	
				取扱方法	Ｃ	Ｃ	
		外部の転換装置	ＳＴＣ、ＦＴＣ、ＧＡＩＮ（利得）及びＲＡＮＧＥ（距離レンジ）	取扱方法	Ｃ	Ｃ	
	中継方式	無線中継方式及び遠隔監視制御装置	ヘテロダイン中継方式、検波中継方式、無給電中継方式、直接中継方式及び衛星中継方式並びに遠隔監視制御装置	概要	Ｂ		
	干渉	多重回線相互間及び地上対衛星間		概要	Ｃ		
	測定	測定法	波形、スプリアス、占有周波数帯幅、信号対雑音比及びＢＥＲ	概要	Ｂ		

※　第二級陸上特殊無線技士及び第三級陸上特殊無線技士にあっては、「直接波、反射波、回折波及び遅延波」に限る。

５　アマチュア資格（第三級アマチュア無線技士及び第四級アマチュア無線技士）（注４）

授業科目及び内容の分類（資格別専門科目）					養成課程別の授業の要否及び程度（注３）	
授業科目	授業内容	授業内容の要旨	授業内容の詳細	授業内容の区分（注２）	第三級アマチュア無線技士	第四級アマチュア無線技士